

# きょうと 京図ものがたり

夢ふくらむ図書館に



## 目次

インタビュー..... 2

本を読めば話したくなる！  
「京都市図書館読書友の会」の35年

図書館小特集..... 3

特集..... 4~5

図書館の一日

京都市図書館紹介..... 6~7

伏見中央図書館、東山図書館

図書館コラム..... 6

図書館探偵「幻の女」を探して

お知らせ..... 7

開館しました！コミュニティプラザ 深草図書館

利用者の声..... 8

編集後記..... 8

図書館の夏は終わらない。

京都市内の本好きの人々が各地域で作っていた読書グループをまとめた組織として、発足から35年を経過した「京都市図書館読書友の会」。読書家の方にも意外と知られていないその活動や思いを、吉見淑子会長に語っていただきました。

# 本を読めば話したくなる！「京都市図書館読書友の会」の35年

## ■PTA読書部から発展

各学校のPTAの読書部の代表者が、社会教育会館（後の下京図書館）に本を借りに行っていたのですが、当時の館長に、「集まって一度意見交換をしたらどうか」と言われたのがこの会の始まりと聞いています。昭和43年のことでした。当時は、集まって読書会をする場所がなくて、お寺や町内の公会堂みたいなところを借りたりと、苦労があったようです。

その頃は、23グループが集まっていましたが、現在は9グループ約130人で活動しています。

発足2年目からは機関誌「読書」を毎年発行しています。著名な先生方へのアンケートや、ほとんどの会員がひとことずつ書いたりもしています。もうそれも34号になりましたから、35年間活動してきたことになりました。

## ■読書以外にも幅広く活動

友の会としては、月に1回の読書会を行っています。課題図書を決め、京都アスニーで平日の午後に行っています。それ以外にも、講演会年一回や芸術鑑賞（年一回）、文学散歩（年2回）などを年間の行事として行っています。文学散歩は、高槻の高山右近の里のように、近い場所であっても個人ではなかなか行けないようなところを訪れています。

友の会の活動以外に、各グループでもそれぞれに読書

会をはじめとした活動をしています。読書会といっても、難しく考えないで、気軽にたくさんの方に参加していただけるとういですね。たくさんの方が市内にあって、本を好きな人がこんなにたくさんいるのです。人は、本を読めばきつと何か意見がある、胸にくるものがある、話がしたくなるはずなんです。いつも出席できなくても、時間が取れば参加する。これでいいのです。

## ■もっと語り合いたい

だんだんと当初の会員の人たちが高齢になってきて、130人ほどの会員のうち、実際に普段活動しているのは50名ほどです。もっともっとたくさんの方に参加していただいて、男女問わずいろんな方と語り合いたいですね。いろいろな意見が聞けると、場が楽しくなります。

また、課題図書には児童書や各種文学賞受賞作品も含めているのですが、同じ本を読んで、子どもたちがどう感じたのか、それを聞いてみたいですね。できれば、子どもたちと一緒に読書会ができれば、と考えています。この本を読んで今の子どもたちはどのように感じているんだろうって思



文学散歩を楽しむ会員



笑顔で語る吉見淑子会長

うことがあるんですよ。年代が違ふときと感じ方も違ふのですが、逆に同じ面もあると思うんです。表れるものが違うだけで、心の底は一緒でしょうから。一冊の本を通じて、さまざまなものを見方を知ることができ、お互いに理解が深まるのではと思います。

## ■気軽にど参加を

読書会入らない？ってお誘いすると、たいていの方がそんな教養の高いことはだめと言われるんですが、本当はみなさん心の中に何かしら勉強したいという思いをお持ちのようです。話すことや書くことが苦手だと思っておられる方も、そんな難しいものではありませんから、みなさん、ぜひ一度気軽に参加してみてください。

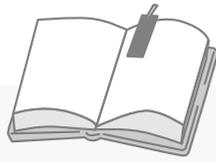
### 《京都市図書館読書友の会に入会するには…》

まず、友の会に所属しているお近くの読書グループに入ってください。お近くのグループは京都市図書館読書友の会でご紹介します。お気軽にお問合わせください。（中央図書館図書係 023-31336）

また、機関誌「読書」は京都市図書館でご覧いただけます。

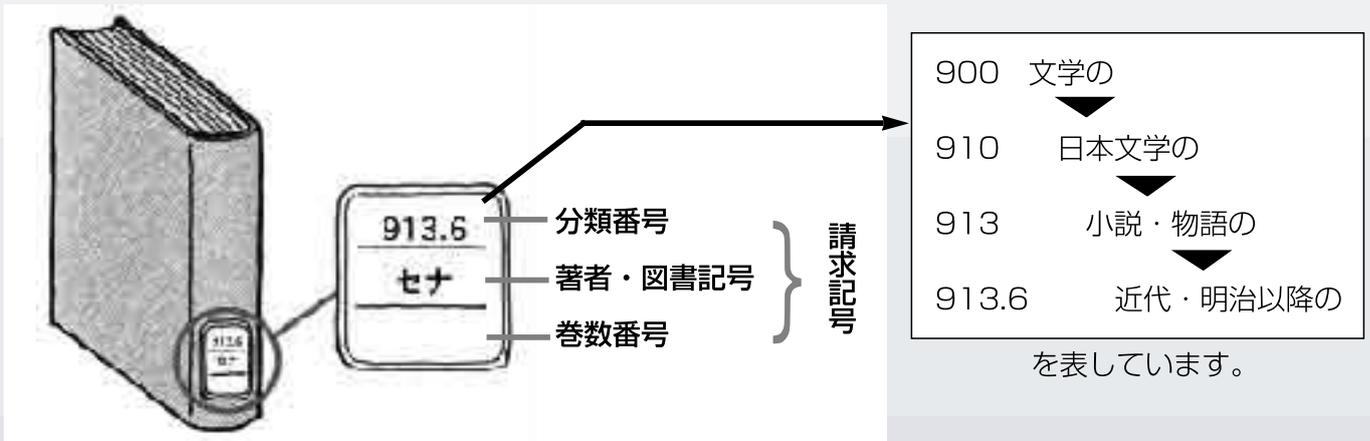
知っているとこんなに便利!

# 図書館の本の並べ方



図書館の本は日本十進分類法によって分類され、それを表す請求記号の順に並んでいます。

日本十進分類法では、同じテーマの本は同じ分類になり、似たテーマの本は近くのカテゴリに整理されるので、同じ書架や近くの書架を探せば関連する本が見つかります。また、全国の図書館のほとんどがこの分類法を用いているので、これを知っていると他の図書館で本を探すときにも便利です。



OPAC(図書検索機)で読みたい本を調べて、印刷ボタンを押すと、レシートが出ます。

2003年07月28日 20時06分

書名 : あしたのロボット  
副書名 :  
叢書名 :  
著者名 : 瀬名 秀明/著  
出版者 : 文芸春秋  
・予約者 0 ・所蔵数 18

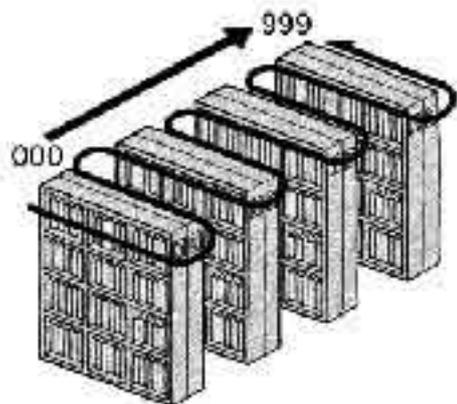
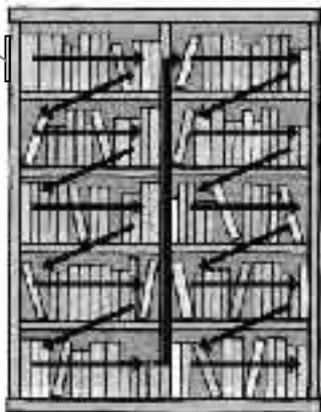
所蔵 場所 請求記号 貸出できます  
中央 一般 /913.6 /セナ /  
資料コード: 016219104

レシートのこの部分に請求記号が出ています。

|     |      |
|-----|------|
| 000 | 総記   |
| 100 | 哲学   |
| 200 | 歴史   |
| 300 | 社会科学 |
| 400 | 自然科学 |
| 500 | 技術   |
| 600 | 産業   |
| 700 | 芸術   |
| 800 | 言語   |
| 900 | 文学   |

書架にも請求記号が書かれています。000~900の順に次のように並んでいます。

- 310 政治
- 320 法律
- 330 経済



# 図書館の一日

図書館の仕事には、いつも利用者の方が見ておられる貸出・返却・調査の他にもいろいろなものがあるのをご存知でしょうか？  
利用者みなさんに、便利にそして気持ちよく図書館をご利用いただけるよう、私たち職員は毎日こんな仕事をしています。  
このほかにも、学校からの見学や団体貸出など、まだまだたくさんの仕事がありますが、ここではその一部を中央図書館を例にして紹介します。

17:00  
まだまだご利用ください  
**夜間業務にむけて**  
(17:00までの図書館もあります)

- ・カウンターで予約図書の処理をします。
- ・返却された図書を書架に戻します。
- ・夜勤務の職員は食事を交代で取ります。勤務交代もあります。
- ・雑誌の受け入れを行います。



返却された本を整理

20:30



閉館の時間です。  
1日の最後にも、返却された本を書架に戻し、片付けや整理作業、翌日の準備などをして仕事を終わります。



返却ポストの内側にあふれる返却本

8:50  
今日も気持ちよく  
ご利用いただくために……  
**開館準備をします**

- ・夜の間に返却ポストに返っていた本の返却処理をし、書架に戻します。  
(毎日200〜700冊の本が返されます)
- ・今日の新聞を並べ、書架の本の乱れをきれいに並べなおします。
- ・館内清掃も念入りに行っています。



15:00

今日もたくさん本を積んで……  
**ブックメール帰還**

- ・ブックメールで到着した予約図書、返却図書の仕分けと整理をします。  
(1日400〜1000冊)
- ・曜日によっては京都府立図書館巡回車も到着し、約50冊の本が届きます。
- ・移動図書館もこの頃に帰ってきます。



ブックメールが届いた本の山



ただいま〜

14:30

たくさんのご参加をお待ちしています！  
**図書館行事**

- ・月に何度か、赤ちゃん・幼児・児童向きに紙芝居や読み聞かせなどの「お楽しみ会」を実施しています。くわしくは事前にチラシ等でお知らせします。
- ・返却された本を書架に戻します。
- ・午後から郵送等で届いた資料を整理します。



赤ちゃん絵本の読み聞かせ

12:00

図書館の人の  
**お昼休みは？**

- ・利用者の方にご迷惑をおかけしないように、職員は交代で休憩に入ります。午前・午後の勤務交代もあります。
- ・利用者みなさんは、お昼の時間も気兼ねなくご利用ください。

今日も笑顔でお迎えます



発注図書が到着

10:00

お待たせしました！  
**開館です**

- ・みなさんご存知の本の貸出や返却、レファレンスサービス(調べもののお手伝い)のほかに、予約の受付や予約の図書が入った連絡をしたり、期限を過ぎても返却されていない方への連絡なども行っています。
- ・返却された本を一度書架に戻します。
- ・曜日によっては、発注していたたくさんの新しい本が入ってきます。





# 伏見中央図書館

## 「知るは楽し 本とのであい」

伏見中央図書館は、

昭和62年8月28日、本格的な規模と機能をもつ京都市南部の中核図書館として、歴史と伝統が息づくまち伏見に開館しました。

今町にある当図書館は、旧伏見城下町に位置し、伏見区役所・保健所その他行政機関とも隣接し、買い物客で賑わう大手筋商店街の近くにあります。また、「酒どころ伏見」といわれるとおり多くの酒造会社も近くに点在しています。

### 建物の1階は、

吹き抜けの広々としたロビー、2階には児童コーナー、成人コーナー、京都コーナーなどを設け、ワンフロアで、どの資料も気軽に利用できる施設となっています。

蔵書は当初4万冊からスタートしましたが、以来、今日まで伏見に関する資料を集めた「伏見コーナー」の設置をはじめ、大活字本などを含めて蔵書の充実に努め、現在では



15万冊を超えるまでになっています。

### 館事業としては、

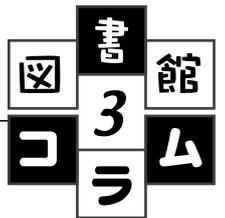
本とのであいの大切さをモットーに、読み聞かせや紙芝居、その他ブックトークやストーリーテリングなど親子で参加できる楽しい催しや、季節ごとのお楽しみ会（ペープサート・パネルシアターなど）等を実施し、非常に人気があります。また、特に子どもを対象とした「こぎつね通信」の発行や、「読書感想文コンクール」の実施により、子どもの活字離れを防ぎ、感性を磨き、創造力を育てるのに欠かせない読書活動を進めています。

こうした事業の継続が評価され、平成15年度「子ども読書活動優秀実践図書館」として4月23日（子ども読書の日）に、京都市の図書館として初めて文部科学大臣表彰を受けました。

### これからも、

あらゆる年代の方々が本に親しめる場として、また、気軽に「知るは楽し 本とのであい」をしていただける場として、そして、市民の皆様の実践学習の情報提供の場として、これまで以上に活用していただける魅力あふれる図書館づくりを職員一同取り組んでいきたいと思っています。

## 「図書館探偵『幻の女』を探して」



司書の仕事は時として探偵稼業です。「探シモノ承リマス（本二開スルコトノミ）」という感じですが、時として姓（題名）も名（著者名）も住所（出版社・出版年など書誌情報）も判らない、「幻の女」をさがす依頼が来たりするのでなかなか大変です。

そんな中で、「前に借りた本をもう一度読みたいが、題名も作者も忘れた」というものが結構あります。そんなのコンピュータの記録を見たらすぐ判る、と思われるかもしれませんが、それができたら図書館探偵（司書）は商売になりません。

図書館が舞台のある推理小説で、個人が過去に借りた本を探偵（本物）がコンピュータの記録で調べる、という場面があつて苦笑してしまいました。まだまだ知られていないことですが、図書館では本が返却されると同時にその貸出記録は消去されるのです。もちろんプライバシーの保護のためです。

というわけで「一度借りた本」でも、手がかかりが少ないと、海岸の砂粒を探すように困難な作業になることがあります。図書館には浜の真砂ほど本がありますから。

数少ない情報から特定の本を突き止める。図書館探偵に求められるものは、推理力と想像力と、それから体力です。エキサイティングでスリリングでクリエイティブな一面さえ持つ仕事です。ご依頼、受け付けております。でも、もし、それが苦でない方ならば、読書記録を、せめて本のタイトルだけでも、残しておかれたならば、かなりの時間の節約になることを付け加えておきます。

このコーナーでは、司書はもちろん図書館に関わる雑多な仕事、本などでは判りにくい図書館の裏側などを、少しずつ紹介していく予定です。ご質問・ご感想など、ぜひお寄せください。



## 東山図書館

### 「開館20周年を迎えました」

豊かな自然環境と文化遺産に囲まれて

東山三十六峰の山裾につらなるこの一帯は、四季折々に彩られる豊かな自然環境と京都を代表する数多くの文化遺産に恵まれ、古都の風情を色濃く残す魅力ある地域です。東山図書館は、こうした素晴らしい環境に囲まれた東山区総合庁舎南館2階にあります。

昭和58年5月に開館し、今年で20周年を迎えました。地域図書館として、幼児から高齢者までの御要望に答えられるように、絵本から実用書、文芸作品やベストセラーにいたるまで、幅広く図書を取り揃えています。

### 幼児から高齢者まで

3階には児童館もあり、放課後には小学生がやってきましたし、毎月1回のおたのしみ会には近所の保育園から幼児が職員の紙芝居や絵本の読み聞かせを楽しみに来てくれます。また、新着図書を楽しみに来られるご年配の方も多く、午後から夕方にかけては、調べ物にいらしむ学生が増えるなど、まさに「幼児から高齢者まで」幅広い年代の方がいらっしやいます。東山図書館では、こうした幅広い年代の利用者に満足していただけるようなサービス心を心がけ、日々業務に励んでいます。

### 特色ある図書館づくり

東山区は京焼・清水焼の地元です。こうした地域の特色を生かし、利用者の利便を図るため、「陶芸に関する図書コーナー」を設け、陶磁器に関連した本を多数取り揃えています。世界陶磁全集（小学館）や日本の陶磁（中央公論社）などの全集をはじめ、蔵書は500冊近くになります。また、「写真で見える 京焼・清水焼の町」という当館手作りの写真集の展示も併せて行っています。

今年の4月29日から京都市図書館全館で祝日開館を実施しましたが、東山図書館では「祝日開館記念」行事として、清水焼にちなんだ陶芸関連図書と写真パネルの展示を行いました。陶芸関連図書について

は、今後より一層の充実を図りたいと考えています。



利用者の皆様のご意見も参考にさせていただきます。ただきながら、「地域性豊かな特色ある図書館づくり」を目指して引き続き取組を進めたいと思

## 開館しました！ コミュニティプラザ深草図書館

平成15年7月19日、学校の図書室を児童だけでなく地域の方々にも利用していただけるように整備し、地域の方々にボランティアとして運営に参加していただく、パートナーシップで創り上げていく新しい形の地域開放型学校図書館「コミュニティプラザ深草図書館」が京都市立深草小学校内に開館しました。

榎本頼兼市長が教育長在任中に創設された、学校を市民の生涯学習や地域コミュニティ活動の場として活用する「学校コミュニティプラザ事業」の一環として取り組まれたもので、館内には図書を京都市立の図書館から取り寄せることもできるなど、京都市における20館目の図書館としての機能も持っています。



開館当日の記念式典には、地元の児童・生徒、PTAの方々をはじめとして、多くの来賓の方々にも出席いただき、華やかなオープンとなりました。また、式典に引き続き、永田萌さんによる記念講演会と図書館見学会が行われました。

式典の翌日から利用が始まった図書館では、子どもからお年寄りまで、たくさんの方々が賑わっています。幼児コーナーや、他の図書館にはない和室コーナーも備えたこの図書館が、地域の方々のふれあいの場になることを願っています。

《開館時間》 土・日曜日：午前10時～午後4時

水・木曜日：午後4時～午後7時

《利用について》 ご利用は深草中学校区及び藤森中学校区

(深草・稲荷・藤ノ森・藤城・砂川・竹田学区)の方。詳しくは開館時間中に、直接図書館にお問合せください。

(TEL 645-33803)

### ●左京区 奥坂 恵子さん 無職

数年前より「お話を聴く楽しさ」を子ども達に知ってもらいたいと活動しています。毎月どんなお話を届けようかとお話がしをする私にとつて、図書館はまさに宝の山。まだ発掘していない古今東西のすばらしいお話が埋もれているのですから。また、お話の中の木や花や鳥、昔の道具等について調べる時も図書館は強い味方です。これからも図書館を活用しながらお話を語り続け、子どもと本をつなぐかけ橋の一端になればと願っています。

### ●西京区 酒徳 清さん 無職

三歳の孫と絵本に夢中になっています。図書館の司書、職員の方々に、幼児の喜ぶ本、良書の推薦や指導を受けつつお借りし、孫の所へ出掛け、テレビにばかり熱中させず、本の好きな子供に成長してくれるよう、一緒に楽しんで絵本を読み聞かせています。美しい色彩の絵本を見たり、自然と羨が備わるような本、昔から語りつがれているお伽噺、外国の名作童話集など幼児向きの本の豊富さに驚きつつ、便利になった図書館のシステム等に感謝の気持ちで一杯です。

### ●長岡京市 中澤 章さん 公務員(嘱託)

幸いに職場の傍に久世図書館が有り、何かと利用させてもらっています。当館に無い本はネットワークにより検索して、市内の他館より取寄せていただいております。また、日常生活において何か調べたいことが有り、職員の方に相談いたしますと、とても親切にアドバイスをしていただき、感謝に堪えません。これからもより良く図書館を活用させていただきたいと思いますが、貸出期間の更なる延長を要望いたしますので、ご検討いただければ幸いです。

### ●南区 今井 昭吾さん 無職

私の子供の頃近くの岡崎公園に府立図書館が有り小・中学生の時はよく利用しました。社会人になり図書館を利用するのは途切れましたが還暦を過ぎ時間的余裕が出来たので、また近くの図書館に行き古書・新刊を問わず好きな本を借り読み耽っています。現在情報機器の発達のため活字離れが進んでいると言われますが、非常に残念で老・若共に本に親しんで欲しいと思います。私は自分の脳の活性化のために精読に励み有意義な人生を過ごしたいと心から思っています。

### ●伏見区 森田 享子さん 主婦

私は、読書家と言うほどではないのですが、図書館は、度々利用させていただいております。本好きの夫に習って、私も子どもたちも度々、自分に合う本を見つけて読書に親しんでおり、喜ばしいことだと思っています。また、図書館で見る親子連れの方のマンナの良さには、いつも感心しています。幼い頃から、本を読むことは、大切なことですね。ただ、ひとつ残念なのは、たまに、図書館での行いが良くない人もいます。公共の場は、皆で気持ち良く過ごしたいものです。

## 編集後記

### 図書館の夏は終わらない。

算術の子 むせび泣けり 夏 西東 三鬼  
 学生の皆さん、いかがですか。むせび泣いていませんか。夏休みの友は、レポートは、読書感想文は終わりましたか。さて、図書館の「夏休み」は晩春から仲秋まで、遙かに続くのをご存知でしょうか。まず、五月、六月に課題図書準備が始まります。七月、夏休み前の試験とレポート提出に合わせて、中・高・大生が大学して来館。特定のテーマの書架が払底し、同じ本に予約が次々かかり、「今日中に必要です」と懇願され、こちらは困惑し、そのまま夏休みに突入。小学生が参入し、館内は連日満員御礼の状態になります。七月中の余裕組、お盆直前までの通常組、お盆直後のちょっと焦り始め組、蠅の声と共に駆け込み組、と盛夏を駆け抜け、彼岸花が咲く頃にまだ間に合うのか？の大物組。気が付くと空は高く、大気は冷涼、秋草も酣と、季節は完全に移ろっています。幻のような夏、けれど図書館の夏休み(の宿題対応)は来年も再来年も、果てしなく続いてゆくのです……。

夏が過ぎ 風あざみ 誰のあこがれにさまよう  
 青空に残された 私心は夏模様

井上 陽水「少年時代」